

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	三遠南信中学生交流事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	学校教育課		包含する細々目	1	10	3	2	10	1	550
政策	8 交流と連携が活力を生むまちづくり											
施策	82 三遠南信・中京圏の連携推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間	11	年度～								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	三遠南信地域の中学生		現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	将来を担う中学生が、三遠南信構想が発展するなかで、教育における交流を推進し、「街づくり」や「生徒会活動」などを語り合うことを通じて、未来の地域づくり・人づくりをめざす。	交流会の参加人数	18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
			23目標		23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
23目標				23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	三市は秋葉街道・天竜川の水運や飯田線を通じて古くから人的・物的交流があった。戦後は天龍奥三河国定公園の指定をうけ、自然・電源・農業・工業など総合的な開発が進められ、現在ではトライアングル構想のもと文化的・教育的な交流が重視されてきている。このようなことから、地域の未来を創造していく子どもたちが、お互いの学校の様子や生徒会活動の様子、地域の様子などをお互いに話し合い、共感や意見交換ができ、自分達の住む街を語り、街づくりへの意識を深め将来三市の中核となって活躍する人材育成を目的とする。	<p>18年度の実績</p> <p>*三遠南信中学生交流会事前オリエンテーション(H18.7.27) 三遠南信交流事業の趣旨、願いを参加生徒へ説明。同時に浜松市・豊橋市の市政概要等を生徒へ説明。 *三遠南信中学生交流会(会場:豊橋市)(H18.8.3~H18.8.4) 豊橋市中学生による市内案内・施設見学、その後「我が校の生徒活動」というテーマで意見交換会。 *帰飯後、感想文を交換。</p> <p>19年度計画</p> <p>*三遠南信中学生交流会事前オリエンテーション(H19.8.3) 三遠南信交流事業の趣旨、願いを参加生徒へ説明。同時に浜松市・豊橋市の市政概要等を生徒へ説明。 *三遠南信中学生交流会(会場:浜松市)(H19.8.7~H19.8.8) 三ヶ日青年の家にてカッター体験(20~30人一組で船で浜名湖へ漕ぎ出す。全員の息が合わないと言は進まない)と意見交換会。(テーマは未定。)2日目は浜松名産品工場などの施設見学。 *帰飯後、感想文を交換。</p>	参加生徒数	135名

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源		550
	事業費計(A)	0	550
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	572
	トータルコストA+B	0	1,122

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	三遠南信中学生交流事業を行うことにより、三遠南信・中京圏域と共通の課題を認識する。協力し補完しあう。	都市間交流に参加している市民の割合(三遠南信・中京圏)	現状値	8.5	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	10
		三遠南信・中京圏との連携や交流が重要だと思ふ市民の割合	現状値	74.2	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	80	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
平成5年に飯田市を訪れた当時の浜松市長が、中学生が育てる「りんご並木」の美しさにや「りんごが実っても、誰一人それを盗む人がいない街にしたい。りんごを実らせることによって、街だけではなく、街の人々の心も美しいものにした」という「りんご並木育成の精神」に感動され、「未来を担う中学生同士が、お互いのよさを学びあうことができないか、将来それぞれの市で中核になる中学生が一同に集い、生徒会活動・地域との関わりなどを話し合うことができればどんなにすばらしいだろう。」という思いがきっかけで交流会がスタートした。	* 交流会を通じて、県外にも友だちができたという喜びの気持ちが出てくる。 * 中学生にもできる交流テーマ(意見交換)が生徒会活動中心となってしまうので、今後の検討課題である。(中学生が意見交換しやすいテーマを再度見直す)	

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由)	
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		三遠南信地域の交流連携事業の一環のため	廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		教育現場からの交流促進は現状維持が目的である	他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		市が交流事業に携わることで、中学生以外の市民への活動促進となる。	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)	

### 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	中学生交流会の現状維持することによって、交流意識が継続される。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	交流意識の継続

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	